

ISO26000に沿った活動報告

労働慣行

シチズングループは、安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、従業員の能力、活力を引き出し、従業員一人ひとりが生き活きと働き、ステークホルダーにとって真に価値のある会社を目指しています。さまざまな教育制度や研修を通じて、スキルの向上だけでなく、人としても成長できる環境づくりに取り組んでいます。

ものづくり技能者の育成

「世界一優良なる時計製造工場の実現」を目指すシチズン時計マニュファクチャリングでは、ものづくり技能向上と人材育成を目的とした「時計学校」を設置しています。ここでは、厚生労働省が行う国家検定制度や、独自に作成した社内検定を目指し、ベテラン従業員が講師となり若手従業員の技能・技術を高めるための講義を行っています。

また、シチズン時計グループは、技術の継承や技術者の技能向上を目的に「技能五輪全国大会」に参加しています。本大会は将来の日本の「ものづくり」を担う満23歳以下の若手技能者による技能レベルを競う全国大会で、2014年度の大会では、シチズン時計マニュファクチャリングから時計修理職種に6名、メカトロニクス職種に2名が挑戦し、時計修理部門で、金・銀・銅・敢闘賞を受賞しました。このような取り組みは従業員のモチベーションアップにもつながり、また、目標に向かって努力する姿勢を養うことで、ものづくりを通じた「人づくり」にもつながります。

今後も時計学校や技能五輪の取り組みを通じて、若手技能者育成と技術・技能の継承および従業員のレベルアップを継続していきます。



時計学校における人材育成



技能五輪全国大会 時計修理部門 金賞受賞

応急手当講習会（中国）

2014年11月、広州務冠電子有限公司で応急手当講習会を開催しました。これは、緊急救命知識の普及と心肺蘇生、AEDの学習が目的で、従業員122名を対象に2日間にわたり開催されました。

中国の工場では、応急手当講習を行う会社が少なく、急病人などが発生した際の対応策が構築されていないのが現状です。シチズングループでは、中国工場での安全衛生教育を2012年からスタートしており、より高いレベルの安全衛生活動を海外工場に取り入れています。応急手当の知識を広めることで地域社会の安全にも貢献できるよう、取り組みを継続させています。



人権

シチズングループは、国際社会の一員であるという自覚を持ち、海外においても、その文化や慣習を尊重し、あらゆる差別を排除することを遵守しています。また、違いを受容し、人格、個性、多様性を尊重し、さらに、その多様性を強みに変える企業風土を構築することで、さらなる企業価値の向上を実現する取り組みを推進しています。

女性キャリア研修の開催

持続可能な事業活動の実現には、女性の活躍が欠かせません。そのためには、女性従業員が結婚や出産、育児などさまざまなライフイベントを経験しながらも、働き続けられる環境を構築することが求められます。

シチズンホールディングスは、2015年2月に、「女性キャリア研修」を開催しました。これは、女性ならではの発想や視点、能力のさらなる発揮による企業競争力の強化を目的に、具体的な目標とアクションプランを策定し、今後の活躍につなげてもらうことを目指した内容となっています。

今後も引き続きグループでの取り組みを強化し、真のダイバーシティを実現することで、さらなる企業価値の向上を実現していきます。



女性従業員対象のキャリア研修

部門長向けダイバーシティ研修の開催

シチズンホールディングスでは、部門長を対象に「ダイバーシティ研修」を行っています。「多様化・複雑化する現代の職場環境に適応し、成果を生み出す」という視点で、自らのマネジメント観に厚みを持たせることを目的に、ダイバーシティとは何かという基本的なことから、実際の業務においてどのようにマネジメントすればダイバーシティが向上するかを学びました。



部門長対象のダイバーシティ研修

2014年度 人事関連情報

対象期間：2014年4月1日～2015年3月31日（障がい者：2014年6月時点）
集計範囲：グループ国内主要13社

女性管理職比率 (%)		3.40%
障がい者雇用率 (%)		2.03%
育児休暇取得者数	男	0名
	女	51名
	合計	51名